

指定校番号	30008	○	学級活動		児童会活動		クラブ活動		学校行事
-------	-------	---	------	--	-------	--	-------	--	------

平成30年度生徒指導集中対策及び生徒指導実践指定校「特別活動の取組事例」

学校名	廿日市市立阿品台西小学校	校長	松江 都志美	生徒指導主事	大久保 真人
-----	--------------	----	--------	--------	--------

取組事例名 『全校で取り組む たて割り班そうじ』

取組における育てたい資質・能力

人間関係形成		社会参画		自己実現	
「コミュニケーション能力」	2	「主体性・積極性」	1	「自己の生き方・自らの自信」	3

取組のねらい『キーワード 6年生みんながリーダー』

- (1) 清掃活動を通して、人を大事にすること、物を大事にすることを実践的に学ぶ。
- (2) 担任以外の教職員も直接児童と関わる場とし、児童と教職員と一緒に学校をきれいにする。
- (3) 異年齢集団で「思いやり」「導き合い」など、日常的に関わり場の場をもつことで、縦割り班を使った集団作りとリーダーの育成を実践する。
- (4) 掃除道具の扱い方、手順の基本を学び、工夫して作業できるようにする

取組の具体的内容『キーワード 子どものよさを多角的に』

学校全体を一定期間、同じ場所、同じメンバーで掃除する。

- (1) 全校児童を、縦割りによる60班に編成し掃除を行う。
 - ① 1班の平均人数が9人（それぞれの学年で原則1～2名ずつ）
 - ② 各クラスとも20班に分ける。（4年生のみ30班）
- (2) 教職員1人が約3区域の児童（約27人）を指導する。
- (3) 年に1回、阿品台中学校の3年生がすべてのそうじ場所にそうじの指導をしに来てくれる。



阿品台中3年生 出前そうじ

取組の課題・創意工夫『キーワード 異学年の課題も』

担任がクラス内の児童を20班（4年生は30班）に分けるとときに、指導上課題のある児童が重ならないように配慮しながらエクセルファイルに入力を行った。

入力は各組とも「6年生」→「5年生」→「4年生」→「3年生」
→「2年生」→「1年生」

の順に行う。指導上課題のある児童の配分のバランスを考えながら行う。

各組ごとに全学年の入力が終わったら、組会（1組、2組、3組）を設け、担任で20班の構成の最適化に努めた。



取組の成果（効果）『キーワード 自己有用感』

すべての6年生が下学年から「班長さん」と呼ばれ頼られることで自己有用感を感じて活動している。また、清掃活動だけでなく体育委員会主催のレク大会なども通じて異学年の交流を深めている。5年生は副班長として6年生からバトンを受け取る準備を始めている。

今後の展開『キーワード リーダーに感謝』

卒業前の6年生のリーダーにお礼の手紙を縦割り班で書いたり、6年生に感謝の気持ちを表す活動も計画したい。



他教科との関わり『キーワード 楽しい活動もたて割りで』

この縦割り班を使って体育委員会の子どもたちが楽しくグループで遊ぶ活動（スポーツしまくり祭）を計画して、縦割り集団で楽しい活動もできた。

